

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)8月4日

所 属 名:湖東農産普及課

番 号:F25009

発 信 者 名:川村^智、堤、緒方

「とよ坊かぼちゃん」の第2回産地ビジョン策定に向けた話し合いを開催

7月9日にとよ坊かぼちゃん生産部会員やかぼちゃ加工品を製造する特産部会員など 14 名と関係機関により、「とよ坊かぼちゃん」の第2回産地ビジョン策定に向けた話し合いを行いました。

第1回産地ビジョンの話し合いでは、生産部会で産地の現状を共有するとともに、産地の維持・活性化に向けて意見を出し合いました(普及現地情報 F25003)。話し合いを行うにあたり、事前に「生産面と流通面からカボチャの産地を維持するためには何ができるか?」という質問を投げかけ、課題の整理と取組について話し合いました。

前回に引き続き(株)フランの竹川プランナーを話し合いのコーディネーターとして招き、普及指導員が意見交換のファシリテーターとなり、3チームに分かれて話し合いを進めました。参加者からは、「夏場の暑さ対策のため、収穫時期を早める栽培が必要」、「青果物や加工品の経費の見直しが必要」、「特産品としてもっとPRが必要」など様々な意見が出され、活発な議論がなされました。

今後の予定として、10月に第 3 回の話し合いを開催し、3年後を見据えた取組のロードマップを作成する予定です。今後も関係機関と連携し、「とよ坊かぼちゃん」の産地ビジョン策定支援を行います。



グループワーク(KJ法)で意見を出し合う参加者



まとめた意見をチームごとに発表